

「知りたいこと」「伝えたいこと」 北京事務所にご相談ください

(一財)自治体国際化協会北京事務所 所長補佐 桑本 祥代 (島根県派遣)

クリア活用というと、現地調査、現地交流先へのアポ取り、アテンドなどを思い浮かべられるかもしれませんが。今回は「情報発信」という観点から、北京事務所が行っている、まったく異なる二つの取り組みをご紹介します。

北京事務所では、国際旅行博覧会への出展、物産展の開催などの経済交流分野、専門家派遣事業などの国際交流分野にも積極的に取り組んでいますが、活動支援の分野でも、現地へのアテンドのほか、中国の地域や、政府機関などの情報提供を行っています。また、中国のメディアと連携することで、質、量ともにこれまでにない情報発信を行っています。

中国の「外事弁」から「主任」がやってくる!!

見出しの言葉から、正確な情報を読み取れる方はどれだけいるでしょうか。

中国の外事弁公室（「外事弁」または「外弁」と略すことあり）は、国際交流を担当する部署であり、そのトップは「主任」です。日本の自治体であれば、「部長」や「局長」に相当するといえ、日本でいう「主任」という役職とは大きな違いがあります。

また、地方政府の階層も、日本の階層と照らし合わせると間違えやすいので注意が必要です。中国の地方政府は、「省級」、「地級」、「県級」、「郷級」の4階層制となっていますが、省級である「北京市」、地級である「杭州市」、県級である「義烏市」それぞれの階層で、「市」という名称が用いられています。「浙江省杭州市臨安市」と、市が重なることもあるのです。

このように同じ漢字圏だからこそ理解しづらい、両国で意味が違う事柄や、中国と交流する上で戸惑うであろう仕事の進め方の違いなどの情報を、北京事務所ホームページや、事務所でのブリーフィング

において提供しています。

知事、市長や議員の皆さんをはじめとする、活動支援の利用者からも、「な



所長から議員団へのブリーフィングの様子
じみのない中国の制度を、分かりやすく説明していただいた、「交流先に行く前に、予備知識を得ることができた」と好評です。

北京事務所では、日頃から情報収集にも積極的に取り組んでおりますので、こういった分野でもぜひご利用ください。

中国における効果的な 情報発信手段を提供しています

クリア北京事務所では、中国国際放送局（CRI）および人民網という中国のメディアと連携し、日本の地方自治体の情報発信を進めています。

- ◇CRIは世界200の国と地域に向けて、中国および世界各国の情報を63種類の言語で発信しているラジオ放送局です。なかでも日本語放送は歴史も古く、日中友好の一端を担ってきたとも言われています。
- ◇人民網は、日本・日中関係の報道を専門に中国語で提供するニュースサイトです。

■CRIラジオ放送

昨年よりCRIラジオ放送の月1回のコーナーに「加油！日本の自治体職員在中國（加油は“がんばれ”

の意)」を設けていただき、クレア職員や在自治体事務所職員が出演して、地域の魅力を語っています。

この放送は日本語放送ですので、多くのリスナーは、日本が好きという方、日本語を勉強して日本を訪れたいという方です。またインターネットの活用により、中国はもとより、日本でも世界各国でもインターネットラジオとして聞くことができます。

こういった日本に興味があるという大勢の方に対し、職員の言葉を用いてダイレクトに、観光情報やガイドブックにはない地域の情報、グルメの情報を伝えられる機会がめったにないのではないのでしょうか。

■人民網

また、このラジオ収録には人民網の取材が同行します。その場で話した観光情報などを、中国語に翻訳し、人民網のサイトに掲載することができます。人民網はニュースサイトですので堅い話題が多いのですが、自治体が提供する観光、グルメなどの情報を掲載することで、アクセス数も上昇するため、人民網側からも本取り組みは歓迎されており、両者はwin-winの協力関係であるといえます。



人民網をきっかけに、多くのサイトに転載される観光情報

さらには、中国のサイトでは次から次へと転載されることが多く、人民網をきっかけに、新華網、中工網など、図らずも多くのサイトで地域の魅力を伝えることとなります。

■体験談

実際に私がCRIに出演した際の状況をご紹介します。

ラジオ出演など、普段は経験しないことから、少し緊張して放送局に向かいました。しかし、インタビュー



CRIラジオの収録風景

を担当するのは、当然ながらプロのアナウンサーであり、こちらの説明をさらに分かりやすい表現に変え、リスナーに伝えていただきました。その当時のホットな話題（出雲大社神職と皇族のご結婚、テニスプレイヤー錦織圭選手の出身地であることなど）にも触れ、パンフレットの情報よりも、さらに魅力的に島根県を紹介することができたと思います。

また、質問や感想を寄せたリスナーに自治体からプレゼントを用意したことで、聞いている人が島根県を知っているのか、どういったことに関心があるのか、把握することができました。中国の詩人と同じ名前を持つ酒造メーカーに対するコメントなど、思ってもいないところに反応があったのは驚きであり、今後のPRの材料を得た気がします。

■微信、微博の活用

また、CRI、人民網ともに「^{ウェイシン}微信（中国版LINE）」、「^{ウェイボ}微博（中国版Twitter）」のアカウントを持っており、そのフォロワー数はといえば、クレアや自治体単独では、到底太刀打ちできません。

日本観光PRプロジェクト『CRI带你游日本』は、CRIの声がけで、全日空、日本政府観光局とも連携した、微博を用いたプロジェクトです。開始から5か月で、閲覧数が1,206.5万、コメント数2,362通にも及び、非常に多くの中国の方に、日本の観光情報、グルメ情報を伝えています。

さらには、このアクセス数をフィードバック、解析することで、中国人の現在の関心事を把握することができます。これは自治体が中国に向けて地域をPRする際の、大きな財産となるのではないのでしょうか。

さいごに

北京事務所では、情報発信の分野でも取り組みを進めています。「知りたいことがある」、「伝えたいことがある」そんなときにも、北京事務所をぜひご活用ください。

お問い合わせ先

自治体国際化協会北京事務所
TEL：+86-(0) 10-6513-8790
E-mail：clairbj-jp@clair.org.cn